

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針1 市民活動に関する情報収集・提供
実施施策1 紙媒体による情報提供の充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
1	広報とよかわやボランティア・市民活動センターだよりの充実	市民活動に関する情報を広く市民に提供するため、市民活動に関する情報を積極的に収集し、広報とよかわやボランティア・市民活動センターだよりに掲載内容の充実を図ります。	秘書課	●広報とよかわ 11月号で学校ボランティアの特集を組み、子どもや学校を取り巻く社会環境の変化に伴い必要とされる地域ボランティアの支えとその活動紹介、市の取り組み、ボランティア登録を周知する記事を掲載した。	A →	
			市民協働国際課	●センターだよりの 4回/年発行(7.9.12.3月) センタープリアが開催した「えがおフェス2019」や、センタープリアのホームページリニューアルの周知、市内で行われる協働事業の紹介などを掲載した。また、市民活動団体11団体の活動紹介や、団体が行うイベント情報・講座情報15件を掲載し、市民活動の情報発信の充実を図った。	A →	
2	企業などが発行する情報紙への市民活動情報の掲載促進	企業の社会貢献活動との連携を図ることで、企業紙や民間フリーペーパーへの市民活動情報の掲載を促し、若年層や働く世代の市民活動参加の促進を図ります。	秘書課	●豊川はなまる1回	A →	
			市民協働国際課	●豊川はなまる：1件 ●羅針盤：2件 ●サプリー：1件 ●メセナ：1件 ●スポーツとよかわ：6件 ●JAひまわり：1件 ●キングラン：2件	A ↑	
			商工観光課	●メセナ(豊川商工会議所月報)：1件 とよかわボランティア・市民活動センターの施設利用案内や、市民活動中の事故などを補償する市民活動総合補償制度、NPO法人の運営費の一部を補助するNPO法人運営支援補助金、協働のまちづくりについての出前講座などの周知を行った。	A →	
3	ボランティア適正診断シートの作成	気軽に市民活動へ参加するきっかけづくりとして、簡単にできるボランティア適正診断シートを作成し、イベントや講座などでの活用を推進します。	市民協働国際課	おいでん祭や市民協働国際課が開催する講座等で、受講者へ平成30年度に作成したボランティア適正診断シートを200部配布し、ボランティアへの意識啓発を図った。	A →	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針1 市民活動に関する情報収集・提供
 実施施策1 紙媒体による情報提供の充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
4	小学生向け町内会活動啓発冊子の作成	町内会活動を周知するため、町内会の活動事例を紹介した小学生向けの冊子を作成し、副読本として授業で取り入れてもらうなど活用を推進します。	市民協働国際課	市内の全小学校26校の3年生に1,681部配布し、17校において授業の中で町内会の取り組みを学んでもらった。また、市内の小学校8校で、啓発冊子を利用した出前講座を行い、小学生572人が受講した。なお、連区長や町内会役員に講師を依頼し、小学生が身近な方から町内会活動を学ぶ機会を設けた。	A	
					→	
5	定年退職者向けボランティア啓発冊子の作成	多様なスキルを持った人材を市民活動に生かすことができるよう、定年退職者を対象としたボランティア啓発冊子を作成し、周知を図ります。	市民協働国際課	未実施	-	
					-	

進捗度前年比 評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）
 ↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針1 市民活動に関する情報収集・提供
 実施施策2 インターネットなどの効果的な活用

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
6	市ホームページの内容の充実	市民活動に対する意識を高めるため、市ホームページやフェイスブックなどの情報媒体を有効に活用し、タイムリーな情報を掲載します。	市民協働国際課	市ホームページを活用した市民活動情報の発信の充実を図った。 情報掲載件数 19件	A	
					→	
7	ボランティア・市民活動センターホームページなどの内容の充実	市民活動に関する情報を広く市民に提供するため、ボランティア・市民活動センターホームページについてリニューアルを検討するなど内容の充実を図るとともに、どすごいネットの運用支援を行います。	市民協働国際課	とよかわボランティア・市民活動センタープリアのホームページのレイアウト等を定期的に更新するなど、利用者に親しみやすく、見やすい掲載内容の充実を図った。 また、若者等への情報発信の強化を図るためFacebookやTwitterに市民活動情報を掲載した。 情報掲載件数：122件	B	Facebook、Twitterのフォロワー数が少ないため、アカウントの周知をしていく必要がある。
					→	
8	講座申込みのインターネット手続きの推進	主に若年層の参加を促進するため、いつでも、どこでも講座等の申込み手続きができるよう、インターネットを活用した手軽に参加できる環境を整えます。	市民協働国際課	インターネットの「あいち電子申請届出システム」を活用して講座等に申込みできる環境を整備した。 システム活用件数：8件	B	申込が必要な事業全てにインターネット申込を取り入れていく。
			環境課	<ul style="list-style-type: none"> ●若者ボランティア体験講座申込 ●市民ボランティア登録申込 ●広報リポーター登録申込 ●春の里山体験講座申込 ●子ども環境体験ツアー申込 ●夏休みに酸性雨を調べよう講座申込 ●トヨカワシティマラソン大会ボランティア申込 ●豊川リレーマラソンボランティア申込 		
			スポーツ課		→	
9	市民ボランティア情報提供システムの利用促進	気軽な活動参加を促進するため、市民活動団体や企業、市が求める様々なボランティア募集情報について、希望者にメールで提供するシステムの利用促進を図ります。	市民協働国際課	センタープリアからボランティア情報や養成講座情報を提供する「個人ボランティア情報提供システム」と、市の登録フォームから登録可能な「市民ボランティア情報提供システム」の運営によって、情報を必要としている市民に、メール配信によってボランティア募集情報や講座に関する情報を多く配信した。 情報発信件数：20件 システム登録者数：54人 (個人ボランティア：46人、市民ボランティア：8人)	A	
					↑	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針1 市民活動に関する情報収集・提供
 実施施策2 インターネットなどの効果的な活用

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
10	情報収集・発信ボランティアの育成	市民活動情報を収集・発信するボランティアを育成し、SNSをはじめ、情報発信に効果的な新たな媒体、手法について調査・研究・実施します。	市民協働国際課	●広報リポーター登録制度の設置 市民活動情報を効果的に発信するための取材の仕方、記事の書き方、写真の撮り方についての講座を開催し、講座に参加してくれた市民を情報発信ボランティアとして登録した。また、登録者から積極的に情報提供をしてもらい、センターのTwitterやFacebookに掲載した。 登録者：18名 原稿提供回数：45回 ●愛知大学生との調査・研究 愛知大の学生と協力し、市内の市民活動やボランティアに関する情報を発信している、とよかわボランティア・市民活動センタープリオのTwitterのフォロワー数を伸ばすための検討と、より迅速な情報発信を行うための方法を検討した。 研究会開催件数：3回	A	
					→	

進捗度前年比 評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）
 ↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針2 人材育成と協働意識の醸成
実施施策1 担い手の育成と活用

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
11	若年層ボランティア体験講座の実施	若者の地域活動への参加促進と意識啓発を図るため、高校生や大学生などを対象とした参加・体験型のボランティア講座を開催します。	市民協働国際課	高校生から概ね25歳までの若者を対象としたボランティア体験講座を実施した。多くの参加者から、「今後もボランティア活動を続けていきたい」と回答があり、若者のボランティア活動のきっかけづくりとなった。 体験事業数：26事業（市16事業、民間7事業、NPO法人2事業） 開催日：オリエンテーション：6月8日（土） ボランティア体験：6月10日～12月13日 ふり返りの会：12月14日（土） 受講者：延べ118人	A	
					→	
12	参加のきっかけとなる講座などの充実	市民の市民活動へのきっかけづくりのため、多様化する市民ニーズに対応した講座などの企画・運営を行い、土日の開催や親子での参加、託児の実施など、参加しやすい環境を整えます。	福祉課	●豊川市手話奉仕員養成講座《入門・基礎》 手話の語彙を増やし、手話でコミュニケーションする楽しさを学ぶことにより、聴覚障害者の生活の安定と社会参加をサポートする手話奉仕員の養成を行った。また、受講者が入門編から基礎編へのスムーズな移行ができるよう整備を行った。 開催日：昼の部：5月7日～3月10日（各回火曜） 全40回 夜の部：5月10日～3月6日（各回金曜） 全40回 受講者：13人（昼4人、夜9人）	B	受講後のフォロー等について検討する必要がある。
					→	
			介護高齢課	●介護・生活支援サポーター養成講座 高齢者等の生活支援や介護予防のお手伝いなど、住民主体の支え合い活動を実施するサポーターの養成講座と、前年度までの受講者を含むフォローアップ講座を行った。 ①養成講座 開催日：11月13日～12月18日（各回水曜） 全6回 受講者：19人 ②フォローアップ講座 開催日：2月12日（水）、2月19日（水） 受講者：17人	B	各講座おおむねの定員数に達しているが、フォローアップ講座については参加申し込みが少なかったため、講座内容等の見直しと、周知・参加促進が必要。
		↘				
			子育て支援課	●子育てサポーター養成講座 ボランティアで子育て支援に関わる人材を養成する講座を開催した。支援者同士が出会い、交流することで一層の子育て支援推進を図ることができた。 開催日：11月1日～12月4日 全6回 受講者：17人（修了証発行13人）	B	受講者が少なかったため、講座開催の案内方法や講座開催日程等の見直しを検討する。
				↘		

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針2 人材育成と協働意識の醸成
実施施策1 担い手の育成と活用

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
12	参加のきっかけとなる講座などの充実	市民の市民活動へのきっかけづくりのため、多様化する市民ニーズに対応した講座などの企画・運営を行い、土日の開催や親子での参加、託児の実施など、参加しやすい環境を整えます。	保健センター	<p>●健康づくり推進員養成講座 健康を様々な視点から考え、自分や市民の健康づくりのため、継続的に支援可能な健康づくりのためのボランティアの養成を目的に講座を開催。働く世代等、より多くの希望者が受講しやすいよう回数や内容を見直した。周知方法も工夫し早めの周知に加えて、周知先を民間にも広げて啓発したため申込者が増えた。昨年に引き続き受講者が主体的にまちづくりに寄与できるよう、講座の一部を市民協働国際課の職員と協働で実施した。 開催日：11月21日～1月30日 全5回 受講者：延べ91人</p> <p>●健康づくり推進員学習会 健康づくりに関するボランティアとして活動するため、必要な知識を得るとともに、活動意欲や継続意欲につなげることを目的に学習会を開催した。今年度は、とよかわ市第2次健康づくり計画の重点課題である「睡眠」に着目したテーマ、内容で実施したことで健康づくり推進員と保健センターが一体となって市民の健康づくりを推進することにつながった。また、講義を外部講師に依頼し、内容の充実を図った。 テーマ：こちよい眠りの先は健幸（けんこう）～思わず伝えたくなる睡眠の学び～ 開催日：7月8日～10月7日 全3回 受講者：延べ110人</p>	A	
			市民協働国際課	<p>●ボランティア・市民活動・体験養成講座 体力メンテナンス「バラボPark」が企画・運営するボランティア体験講座を開催した。講座終了後には、受講者がとよかわボランティア・市民活動センターを訪問し、どんなボランティアがあるのかを相談するなど、今後のボランティア活動参加への意欲につなげることができた。 開催日：2月27日(木) 受講者：18人</p> <p>●情報発信ボランティア養成講座 市民活動の情報発信を目的に、写真の使い方や文章の書き方など、情報発信のコツを学ぶ講座を、新聞社の記者が講師となって開催した。受講後に2名が市民広報リポーターに登録してくれた。 開催日：2月4日(火) 受講者：33人</p>	A	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針2 人材育成と協働意識の醸成
実施施策1 担い手の育成と活用

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
12	参加のきっかけとなる講座などの充実	市民の市民活動へのきっかけづくりのため、多様化する市民ニーズに対応した講座などの企画・運営を行い、土日の開催や親子での参加、託児の実施など、参加しやすい環境を整えます。	中央図書館	修理本ボランティア養成講座（隔年） 図書館の本の修理に必要な技術を学ぶ講座を開催した。 開催日：12月6日（金）、12月13日（金） 受講者：28名	A	
					→	
13	リーダー養成講座の開催	市民活動団体や町内会が、継続して効果的な活動を展開できるよう、組織のリーダーとなる人材を養成します。	市民協働国際課	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティリーダー養成講座 町内会役員等を対象に、5団体がコミュニティ活動の活性化を図るため実施した先進事例を紹介する講座を開催した。参加者からは「自分の町内でも取り入れたい」など、町内会活動の身近な事例として関心が高かった。 開催日：7月1日（月） 受講者：131人（町内会役員等） 	A	
			防災対策課	<ul style="list-style-type: none"> ●とよかわ防災リーダー養成講座 自主防災会から推薦された方を対象に、地域防災活動のけん引役となる防災リーダーを養成するための講座を実施した。 開催日：6月9日（日）、6月16日（日） 受講者：53人 ●とよかわ女性防災リーダー養成講座 自主防災会から推薦された方などを対象に、地域防災活動のけん引役となる女性防災リーダーを養成するための講座を実施した。 開催日：11月9日（土）、11月23日（土） 受講者：25人 	→	
			環境課	<ul style="list-style-type: none"> ●里山保全リーダー・フォローアップ講座 平成30年度「里山保全リーダー養成講座」受講者及び里山保全活動従事者を対象としたフォローアップ講座を開講した。自然環境や里山に関する正しい基礎知識と技能の習得を継続して行い、市民による計画的な森づくり活動の支援を行うため、全2回の連続講座を開催した。 開催日：12月14日（土）、1月18日（土） 全2回 受講者：延べ18人 	A	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針2 人材育成と協働意識の醸成
実施施策1 担い手の育成と活用

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
14	コーディネーター養成講座の開催	市民活動団体、町内会、企業、市が協働しやすい体制づくりや地域での連携を推進するため、各組織や市民同士を繋ぐコーディネーターを養成します。	防災対策課	<p>●防災ボランティアコーディネーター養成講座 大規模災害時、災害ボランティアセンターでボランティアと被災者との調整役を果たせるよう、防災ボランティアコーディネーターを養成するための講座を実施した。 開催日：9月1日（日）、9月8日（日）、9月14日（土） 受講者：36人</p> <p>●防災ボランティアコーディネーターフォローアップ研修 防災ボランティアコーディネーター養成講座修了者を対象に、大規模災害時、災害ボランティアセンターでボランティアと被災者との調整役を果たせるよう、養成講座で習得した知識及び技術の維持・向上を図る研修を実施した。 開催日：1月12日（日） 受講者：19人</p>	A	
					→	
15	協働のまちづくり人材バンクの設置	専門的なスキル・知識を持った人材を市民活動団体や町内会などに派遣し、活動の活性化と協働のまちづくりに生かす仕組みづくりとして、人材バンクを創設・活用します。	市民協働国際課	未実施	—	
					—	

進捗度前年比 評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）
↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針2 人材育成と協働意識の醸成
実施施策2 協働意識の醸成

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
16	市民向け協働研修などの開催	市民の協働への関心を高めるため、研修会や出前講座を実施するとともに、協働の手法を分かりやすく説明した「協働の手引き」の普及・啓発を図ります。	市民協働国際課	<ul style="list-style-type: none"> ●「協働のまちづくり」出前講座 豊川市民協働事業補助金の補助対象団体や、各課が実施する養成講座受講者を対象に、協働を周知・啓発する出前講座を開催した。 開催期間：7月22日～2月20日（9回開催） 受講者：109人 ●啓発冊子の配布 手軽に手に取って見てもらえる「協働ガイド」を出前講座や養成講座などで市民や市民活動団体へ配布。 配布部数：837部 	A	
					→	
17	市職員向け協働研修などの開催	市職員の協働意識の向上を図るため、研修を行うとともに、「協働の手引き」の活用を推進します。	人事課	<ul style="list-style-type: none"> ●新規採用職員研修：新規採用職員を対象に、ボランティア休暇制度の趣旨・内容説明を行った。 受講者：131人 ●新規採用職員実地体験研修：新規採用職員を対象に、福祉施設での福祉体験を実施した。 受講者：42人 	A	
					→	
			人事課 市民協働国際課	<ul style="list-style-type: none"> ●一般職員中期研修 採用5年程度の職員を対象に、市民活動団体3団体を見学し活動内容等を学ぶことで、今後の業務で市民活動団体などとの協働を考える研修を行った。 見学先：（特非）どんぐりの会、（特非）とよかわ里山の会、（特非）穂の国まちづくりネットワーク 受講者：21人 	A	
					→	
18	市民協働推進員の設置	全庁的に協働を推進するため、各課単位で市民協働推進員を1名任命し、研修などにより協働の手法を学ぶ機会を設けるとともに、各課の施策に活用します。	市民協働国際課	<p>全課に市民協働推進員を設置し、55名を選任するとともに、市民活動や協働について学ぶ研修を開催した。また、協働事業補助金の公開プレゼンテーションにも関わり、企画案にアドバイスを添えるなどした。</p> <p>開催日：9月17日（火） 講師：名古屋市立大学 人間文化研究科・人文社会学部 三浦 哲司氏</p> <p>受講者：47人</p>	A	
					→	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針2 人材育成と協働意識の醸成
実施施策2 協働意識の醸成

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
19	企業向けボランティア出前講座の開催	企業の社会貢献活動への意識向上と従業員のボランティア参加促進を図るため、企業向けのボランティア出前講座を開催します。	市民協働国際課	キングラン東海（株）を始め、市内の事業所の社員を対象に、協働ガイドを使用した協働の出前講座を実施した。 開催日：8月7日～12月26日 事業所数：3事業所 受講者：22人	A	
					→	
20	団体交流会などの開催	市民協働による取り組みを促進するために団体交流会などを開催し、市民活動団体や町内会、企業などが、活動紹介、意見交換、相互理解、情報共有を図る機会を提供します。	市民協働国際課	とよかわボランティア・市民活動センタープリアで、登録団体交流会を3回開催した。 ①「おたのしみ交流会～Let's Magic～」 開催日：7月3日（水） 参加団体：9団体 参加者：23人 ②「おたのしみ交流会～おしゃべりとバスボム作り～」 開催日：12月18日（水） 参加団体：7団体 参加者：26人 ③「豊川市防災関係市民活動団体交流会」 開催日：1月17日（金） 参加団体：8団体 参加者：32人	A	
					→	
			生涯学習課	●豊川市小中学校PTA連絡協議会研修集会 PTA活動を進める中での問題点などを話し合う研修会を開催した。 開催日：1月25日（土） 参加者：246人	A	
					→	

進捗度前年比 評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）
↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
実施施策1 活動拠点の充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
21	ボランティア・市民活動センターの機能充実	ボランティア・市民活動センターについて、市民活動に関心のある市民や団体、企業が、情報収集・相談のために気軽に立ち寄ることができるよう、利便性の向上を図るとともに、市民活動団体が活動しやすい環境を整備します。	市民協働国際課	<p>●センタープリア運営委員会の開催 施設を利用する団体へ新しくなった印刷機の利用方法について周知した。また、センターの備品の借し出しについて、必要に応じて緩和措置を講じることで利用しやすい環境を整えた。 開催日：6月5日（水） 参加団体：8団体</p>	A	
					→	
22	地区市民館整備事業	地域のコミュニティ活動の拠点施設である地区市民館は老朽化が進んでいるため、建替え・再編を計画的に推進するなど、利用者の利便性を高めます。	市民協働国際課	令和2年度に建替え予定の平尾、古宿地区市民館について、実施設計を行った。また、地区市民館営繕計画やFMに沿って、施設の長寿命化を図った。	A	
					→	
23	公共施設の利用料金減免制度	多様な市民活動団体の活動拠点の充実を図るため、生涯学習・文化・スポーツ施設など公共施設の利用料金を減免します。	財政課	市内の公共施設37施設において、市民活動団体等の会館施設等使用料減免制度を設け、団体の活動支援を図った。 10割減免：7施設 5割減免：30施設	A	
			市民協働国際課	とよかわボランティア・市民活動センタープリアに登録する市民活動団体に対して、公共施設等使用料を減免した。登録団体情報を施設管理所管課へ周知し、団体が円滑に施設利用できるようにした。	B	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
実施施策1 活動拠点の充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
24	地区集会施設整備事業の補助	地域コミュニティ活動の活性化を図るため、町内会などの地縁組織が、活動拠点となる地区集会施設の新築や改修などを行う際に、経費の一部を補助します。	市民協働国際課	地区集会施設の新築・改修・土地取得・空調設備・掲示板設置に補助を行い、活動拠点の整備を支援した。 改修 : 6件 5,782,000円 空調設備 : 7件 2,118,000円 掲示板設置 : 1件 70,000円	A	
					→	
25	新たな活動拠点の調査・発掘	市民活動団体の新たな活動拠点を確保するため、企業の社会貢献活動による施設提供の意向や空き店舗などの状況を調査し、市民活動団体に周知を図ります。	市民協働国際課	未実施	-	
			商工観光課	●空き店舗情報の発信 小売業やサービス業の開業等促進を目的に、空き店舗を所有する者を登録し、購入、賃借等を希望する者に紹介する環境を整えた。 登録件数：0件 紹介件数：0件	C	
					→	登録数が少ないため、登録制度の周知方法を工夫する必要がある。

進捗度 前年比 評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）

↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
実施施策2 財政的支援などの充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
26	市民協働推進事業への補助	市民の連携強化と市民協働のまちづくりの推進を図るため、市民活動団体や地縁組織が他団体や企業と協働して行う事業に対して補助を行います。	市民協働国際課	<ul style="list-style-type: none"> ●豊川市市民協働推進事業補助金：9事業 補助額913,000円 ・萩町内会三世代交流事業（萩町内会） ・権利擁護支援（成年後見制度）の普及・啓発と多職種連携によるネットワーク構築プロジェクト（NPO法人東三河後見センター） ・子ども食堂（豊川市更生保護女性会） ・一度しかない人生、思い切り輝く Part2（豊川共生ネットみらい） ・御油音羽川桜まつり（御油連区） ・乳がん啓発講演会（NPO法人TetteLuce） ・イザ！カエルキャラバン！inとよかわ（防災塾ライフボード） ・桜木校区地域合同防災訓練（桜木小学校校区会） ・三上ふれあいまつり（三上連区） 	A	
					↑	
27	NPO運営支援補助金	安定的・継続的に法人運営ができるよう、NPO法人を運営する上で必要とする法人市民税の均等割額を補助します。	市民協働国際課	<ul style="list-style-type: none"> ●NPO運営支援補助金 市民活動団体として登録しているNPO法人で、前年度赤字で法人税額が0円、法人市民税の均等割のみ市に納付した7団体に5万円を補助した。NPO法人15団体に制度を周知した。 	A	
					→	
28	町内会への財政的支援	町内会活動の活性化を図るため、用途の定めのない交付金や活動の活性化に繋がる補助を行います。	介護高齢課	<ul style="list-style-type: none"> ●老人クラブ運営補助 友愛活動、生活支援活動、清掃・奉仕・環境活動、文化・学習サークル活動、スポーツサークル活動、安全活動を実施した老人クラブに対し、実施内容に応じて補助金を交付した。 ・123単位老人クラブ：補助額5,656,800円 ・老人クラブ連合会：補助額1,621,488円 	B	クラブ加入者数は減少傾向にあるため、各単位老人クラブの新規加入者を増やすための方策を検討する必要がある。
				→		
			市民協働国際課	<ul style="list-style-type: none"> ●地域活動交付金 地域の活性化と町内会の健全な発展を図ることを目的として、官公署からの依頼により広報紙配布や各種委員の推薦、行事の伝達などを行う町内会に対して、交付金を交付した。 186町内会 交付額128,556,000円 ●町内会加入促進事業補助金 町内会への加入促進を図ることを目的として、地域の実態に合った独自の手法や積極的な働きかけなどの事業を行う連区・町内会等に対して、補助金を交付した。 2団体 補助額200,000円 ・豊小学校ガイドブック配布事業（豊小学校区） ・蔵子二区町内会ガイドブック配布事業（蔵子二区町内会） 	A	
				→		
				→		

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
実施施策2 財政的支援などの充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
28	町内会への財政的支援	町内会活動の活性化を図るため、用途の定めのない交付金や活動の活性化に繋がる補助を行います。	人権交通防犯課	<ul style="list-style-type: none"> ●校区安全なまちづくり推進協議会補助 交差点での街頭監視や子どもの登下校の見守り、交通安全、防犯パトロール等の活動を行う各校区安全なまちづくり推進協議会に対し、世帯数に応じて補助金を交付した。 26団体 補助額1,737,852円	A	申請手続き等において地域活動団体等がもっと利用しやすくなる必要がある
					→	
			清掃事業課	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみ対策事業推進交付金 ごみの減量、資源の有効利用と市民のごみ問題に対する取り組みの増進を図ることを目的に、ごみのリサイクルや不法投棄の抑制、ふれあい収集・「清掃の日」等の地域での清掃に取り組む町内会に対し、加入世帯数に応じて補助金を交付した。 186団体 補助額9,500,000円	A	
					→	
			建築課	<ul style="list-style-type: none"> ●地域空家等対策モデル事業費補助 効果的で継続的な空家等の適正管理を図るため、地域において空家の発生抑制、実態調査、適正管理、有効活用など空家等対策に関する活動を行う団体に対し、補助金を交付した。 1団体 補助額30,000円	C	
		↓				
			消防本部総務課	<ul style="list-style-type: none"> ●自警団運営事業助成 豊川市自警団連絡協議会に加入する自警団に対して、運営事業を促進するために、必要な経費の一部を助成した。 23団体 補助額2,300,000円 <ul style="list-style-type: none"> ●自警団消防施設等整備費補助 消防施設等の強化を図るため、小型動力ポンプを購入する自警団に対し、購入金額の一部を補助する制度で、補助の実績はなかった。	A	
					→	
			生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●校区青少年健全育成推進協議会補助 次代を担う青少年の心身ともに健全な育成を図るため、各校区で取り組む家庭教育振興事業に対し、必要な経費の一部を補助した。 26団体（各小学校区） 補助額3,845,000円	A	
					→	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
実施施策2 財政的支援などの充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
29	協働事業の委託	市民サービス向上のため、市民活動団体や町内会の専門性が生かせる事業については、委託などの手法による協働事業を推進します。	行政課	●選挙に係る「声の公報」の発行 音訳ボランティア「こだまの会」が選挙公報を読み上げたものをCDやカセットテープに録音し、社会福祉協議会と連携して視覚障害者の方へ提供した。 提供者件数 108件	A	
					—	
			秘書課	●声の広報・点字広報「とよかわ」の発行 広報の音訳・点訳をボランティア団体に委託して作成し、社会福祉協議会を通じて希望者に配付。 12回/年発行（毎月） ●広報「とよかわ」の手話動画制作を、豊川市ろうあ者福祉協会（障害者団体）に委託して、市HPに掲載。 26本/年制作（月1～4本）	A	
					→	
			福祉課	●相談支援事業 障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、専門知識を有するNPO法人メンタルネット豊川に委託した。 相談者 : 490人 相談件数：1,477件	A	
		→				
		介護高齢課	●高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 高齢者の社会活動についての広報活動、三世代交流活動、健康増進活動、教養講座の開催など総合的な企画、運営を図るため、老人クラブ連合会に委託した。 高齢者大学：292人（卒業生） 三世代交流事業：延べ14,840人（参加者） スポーツまつり：586人（参加者）	B	参加者の減少・固定化解消のため、各活動の内容等の見直しと、周知・参加促進が必要。	
			→			
		子育て支援課	●つどいの広場 子育て中の親が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで育児不安解消の受け皿となる広場（場所）の運営を、NPO法人とよかわ子育てネットに委託した。 開設日：毎週月～金曜日の午前10時～午後3時 年間開設日：204日	A		
			→			

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
 実施施策2 財政的支援などの充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
29	協働事業の委託	市民サービス向上のため、市民活動団体や町内会の専門性が生かせる事業については、委託などの手法による協働事業を推進します。	保育課	●保育園駐車場草取りを大和町内会に委託した。	A	
					→	
			市民協働国際課	●ボランティアセンター指定管理 センタープリオの管理・運営を、NPO法人穂の国まちづくりネットワークに委託した。 ●地区市民館指定管理 各地区市民館の管理・運営を、地元が組織する地区市民館運営委員会に委託した。 ●ボランティア・市民活動・体験養成講座の委託 ボランティア体験講座の企画・運営を、市民活動登録団体「体力メンテナンスバラボPark」に委託した。 ・バランスボールエクササイズでボランティア体験講座 開催日：2月27日(木) 参加者：18人	A	
					→	
			商工観光課	●みんなの消費生活展 消費者意識の高揚と消費生活の安定を図ることを目的に、市民まつりにおいて、消費生活に関する知識の普及と啓発に関する催しを、みんなの消費生活展実行委員会に委託した。 開催日：5月25日(土)、26日(日) ●若年者就労支援事業 若年者に対して、個別相談形式による就労支援を、NPO法人がまごおりサポートステーションに委託した。 開催期間：9月～3月 相談者：58人(2月末時点)	A	
					→	
			環境課	●御油第二墓園草刈作業 高齢者の社会活動参加による生きがいのため、御油第二墓園の清掃及び草刈作業を、御油老人クラブ連合会へ委託した。 実施回数：5回	A	
					→	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
実施施策2 財政的支援などの充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
29	協働事業の委託	市民サービス向上のため、市民活動団体や町内会の専門性が生かせる事業については、委託などの手法による協働事業を推進します。	清掃事業課	<ul style="list-style-type: none"> ●リサイクル運動推進運営委託 清掃工場の見学やごみの分別釣りゲームなどを実施する、小学生ごみ分別チェック隊講座を、豊川リサイクル運動市民の会に委託して実施した。 開催日：7月22日（月） 参加者：市内小学4～6年生とその保護者 37名 	A	
			道路河川管理課	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設アダプトプログラム 市民自らが行う、道路、公園、河川等の清掃美化に対して、必要な資材の提供等の支援を行った。 登録団体：158団体・個人 登録者：4,704人 ●樋門地元管理 台風等による出水時や高潮時等に樋門の操作を迅速に対応できる地元町内会に委託し、災害防止を図った。 箇所数：7町内会 参加者：27人 ●河川草刈作業 河川の草刈やゴミ拾い等を地元町内会や市民活動団体へ委託し、地域住民等による河川環境整備活動の支援を行った。 箇所数：4町内会 ●河川愛護活動 地域の団体などが行う草刈やゴミ拾い等の清掃活動に対して、報償金を支給した。 団体数：9団体（連区、市民活動団体） 参加者：2,431人 ●調整池管理作業 市管理区域の草刈及びゴミ除去等の清掃を実施する地域団体に対して、環境整備活動への支援を行った。 団体数：1町内会 ●川と海のクリーン大作戦 地元住民、地方自治体、国が一体となった、川と海の清掃活動を呼び掛け実践し、ゴミ袋と軍手を支給した。 開催日：10月27日（日） 参加者：245人 	B	
					→	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
実施施策2 財政的支援などの充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
29	協働事業の委託	市民サービス向上のため、市民活動団体や町内会の専門性が生かせる事業については、委託などの手法による協働事業を推進します。	公園緑地課	<ul style="list-style-type: none"> ●都市公園管理委託 都市公園の管理・運営を地元町内会等に委託し、施設の適正な管理を図った。 公園数：80か所 ●児童遊園・ちびっこ広場管理委託 児童遊園・ちびっこ広場の管理・運営を地元が組織する運営委員会に委託し、施設の適正な管理を図った。 遊園数：94か所 ●広場等管理委託 広場等の管理・運営を地元町内会等に委託し、施設の適正な管理を図った。 広場数：16か所 	A	委託内容と実際の作業内容に相違がある団体が散見されるため、個別に見直しが必要。
				→		
			議事課	<ul style="list-style-type: none"> ●声の広報・点字広報「議会だより」の発行 年4回（6、8、11、2月）発行の議会だよりを、ボランティア団体に音訳、点訳を委託して作成し、社会福祉協議会を通じて希望者に配付した。 配付対象者数：声の広報24件、点字広報9件 	A	
				→		
			生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●御油松並木保護増殖事業 御油松並木愛護会に、御油のマツ並木の草刈り・清掃・パトロール・樹勢回復作業・植樹作業を依頼した。 ●子どもセンター事業 豊川少年少女発明クラブに、子どもものづくり教室を委託して開催した。 ●放課後子ども教室推進事業 豊川市子どもセンター協議会に委託し、放課後等に公共施設を会場とし、地域の団体や指導者と連携して各種教室を開催した。 ●赤坂の舞台公演事業・伝統芸能支援事業 赤坂の舞台の活用と金沢歌舞伎の保存・継承のため、赤坂の舞台を使った公演とこれにあわせた小屋掛けを、金沢歌舞伎・小屋掛けの会に委託して実施した。 開催日：10月27日（日） 参加者：400名 ●史跡公園・文化財保護用地等管理委託 市内4箇所の史跡公園・文化財保護用地の効果的な管理のため、地元町内会等に草刈り作業等を委託した。 	A	
				→		

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
実施施策2 財政的支援などの充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
30	市民活動総合補償制度	市民活動者が安心して活動できるよう、公益性のある市民活動や地縁組織の活動中に発生する不慮の事故に対し、市が保険料を負担して補償に備えます。	市民協働国際課	補償対象件数 傷害事故：町内会行事4件、体育事業17件、老人クラブ活動1件、市民活動3件、市事業1件 賠償事故：体育行事1件、市民活動1件	A	
					↑	
31	町内会応援事業所の募集	町内会活動を地域全体で支えるため、町内会行事などで利用する場合に特別なサービスを提供する事業所を募集し、町内会へ利用案内をします。	市民協働国際課	●町内会応援事業所制度 制度の周知・啓発のため、広報配布に合わせて町内会へ4回「登録事業所一覧」を送付するとともに、市ホームページや広報に掲載した。 登録事業所：46事業所 利用実績：延べ31件	A	
					→	
32	まちづくり活動への企業の協賛制度	市民活動への財政的な支援を充実させるため、企業が市民活動を応援する手法を調査・研究します。	市民協働国際課	未実施	-	
					-	
33	寄附制度に関する情報提供や意識啓発	寄附による市民活動への参加を推進するため、寄附制度の周知と寄附文化の醸成に必要な意識啓発を行います。	企画政策課	●とよかわ応援寄附金 返礼品を市内協力事業者に無償で提供してもらうことで、官民連携によるふるさと納税制度を活用した市の魅力PRに努めた。 併せてクラウドファンディング（①保育園エアコン設置プロジェクト、②赤塚山公園ポニーお友達プロジェクトの2事業）を活用することで、返礼品を伴わないが、特定の事業自体を主とした市のPRに努めた。 個人からの寄附件数：485件 寄附額：8,859千円	A	
			市民協働国際課	●おもやいっこステーション 東三河ヤクルト販売（株）でインターネットを利用した商品購入代金の0.5%をパートナー登録している団体へ寄附する仕組みに対して、豊川市は平成29年度からパートナー登録し、10月に1,986円寄附を受領した。	A	

進捗度
前年比

評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）

↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援

実施施策3 人的支援の充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
34	リーダー養成講座の開催【再掲】	市民活動団体や町内会が、継続して効果的な活動を展開できるよう、組織のリーダーとなる人材を養成します。		No.13参照		
35	コーディネーター養成講座の開催【再掲】	市民活動団体、町内会、企業、市が協働しやすい体制づくりや地域での連携を推進するため、各組織や市民同士を繋ぐコーディネーターを養成します。		No.14参照		
36	スキルアップ講座の開催	市民活動をする上での知識や技術を向上させるための講座を開催し、市民活動団体のスキルアップを図ります。	人権交通 防犯課	●防犯ボランティア養成アカデミー 防犯ボランティア団体を対象に、より安全で効果的な活動の向上を図るための講座を開催した。 開催日：10月11日（金） 受講者：14名	A	
					→	
			市民協働 国際課	●NPOスキルアップ講座 市民活動者を対象に、活動に生かせるスキルを身につける講座を開催した。 ・プレゼンテーション力向上講座 開催日：6月17日（月）受講者：24名 ・スマホスキルアップ講座 開催日：9月26日（木）受講者：12名 ・写真撮影力向上講座 開催日：11月28日（木）受講者：27名	A	
					→	
			中央図書館	読み聞かせボランティアスキルアップ講座（隔年） 読み聞かせボランティア養成講座修了生を対象に読み聞かせ技術の向上を目的としたスキルアップ講座を開催した。 開催日：2月7日（金） 受講者：19名	A	
					→	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針3 市民活動団体の支援
 実施施策3 人的支援の充実

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
37	協働のまちづくり人材バンクの設置【再掲】	専門的なスキル・知識を持った人材を市民活動団体や町内会などに派遣し、活動の活性化と協働のまちづくりに生かす仕組みづくりとして、人材バンクを創設・活用します。		No.15参照		
38	アドバイザー派遣制度の調査・研究	市民活動団体や町内会が抱える課題を解決するため、専門的な知識をもつアドバイザーの派遣制度について調査・研究します。	市民協働国際課	未実施	—	

進捗度
前年比

評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）
 ↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針4 市民協働推進の仕組みづくり
実施施策1 推進・連携体制の整備

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
39	市民活動者の審議会などへの登用の促進	市民活動団体の意見を積極的に市政に反映させるため、市民活動団体の代表者などの審議会への登用を促進します。	子育て支援課	●豊川市子ども・子育て会議 事業に従事する者4名（うち市民活動団体1名）、一般公募2名、保護者代表3名、学識経験者1名、市長が認める者1名 計11名	A →	
			市民協働国際課	●市民協働推進委員会 市民活動者5名、企業関係者1名、市長が認める者1名、市職員1名 計8名	A →	
			人権交通防犯課	●豊川市地域公共交通会議 地域住民・利用者8名（連区長、町内会長及び市民活動者）、交通事業者4名、学識経験者2名、関係行政機関等の職員10名 計24名	A →	
			環境課	●豊川市環境審議会 各種団体を代表する者8名、学識経験者5名、関係行政機関の職員2名 計15名	A →	
			生涯学習課	●社会教育審議会 各種団体を代表する者13名	A →	
			学校教育課	●豊川市学校運営協議会 各学校15名以内、計36校283名	A →	中学校区毎の地域代表者を今後も開催し、充実をさらに図る。
40	市民協働推進委員会の設置	協働のまちづくりを推進するため、市民協働推進委員会を設置します。	市民協働国際課	市民協働推進委員会で平成30年3月に策定した「とよかわ市民協働推進計画」の実施事業について評価した。 開催日：6月19日（水）、9月17日（火）	A →	

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針4 市民協働推進の仕組みづくり
実施施策1 推進・連携体制の整備

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
41	市民協働推進員の設置【再掲】	全庁的に協働を推進するため、各課単位で市民協働推進員を1名任命し、研修などにより協働の手法を学ぶ機会を設けるとともに、各課の施策に活用します。		No.18参照	—	
					—	
42	協働事業提案制度の推進	市民サービスの向上を図るため、市民活動団体からの提案による協働事業を推進します。	防災対策課	●穂の国まちづくり塾講演会 NPO法人穂の国まちづくりネットワークからの提案を受けて、市民の防災意識を高め、災害への備えの充実、強化を図るための講座を協働で実施した。 開催日：7月13日（土） 受講者：36人	A	
					→	
43	市民活動団体、町内会、企業のマッチングの仕組みづくり	市民協働のまちづくりを推進するため、市民活動団体や町内会、企業をマッチングする仕組みづくりに取り組みます。	市民協働国際課	三上連区が企画した「三上ふれあいまつり」において、協働のまちづくりを推進するため、連区、多様性や専門性を持つ市民活動団体、ものづくり技術のノウハウを提供する企業とのマッチングを図った。 三上ふれあいまつり 開催日：11月24日（日）	B	団体の要望に応じたマッチングができる土壌づくりが必要である。
					→	

進捗度前年比 評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）
↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている

令和元年度とよかわ市民協働推進計画事業実績報告書

基本方針4 市民協働推進の仕組みづくり
実施施策2 協働事業の評価・公表

No.	事業名	概要	担当課	実績	進捗度	改善点
					前年比	
44	市が取り組む協働事業の公表	市が行う協働事業を推進するため、市が取り組む協働事業を広く公表します。	市民協働国際課	各課で行う協働事業を調査し、取りまとめてリスト化したものを、市ホームページで広く公表した。	A	
					→	
45	とよかわ市民協働推進計画の施策の評価と公表	本計画に基づいて市が実施した事業の進捗管理を行うため、市民協働推進委員会に取り組み状況を報告し、その評価内容を広く公表します。	市民協働国際課	平成30年3月に策定した、「とよかわ市民協働推進計画」の実施事業評価の方法によって、本計画に基づいて市が実施した事業を市民協働推進委員会で評価し、評価結果を市長へ報告した。	A	
					→	

進捗度
前年比

評価基準A：順調に進捗している、B：概ね順調であるが、改善の余地あり、C：遅れている（改善が必要である。）
↑：前年度よりも評価が上がっている、→：前年度と評価が同じ、↓前年度よりも評価が下がっている